

無所属36歳



発行人 小林伸行 小林のぶゆき 検索

住所 横須賀市野比2-13-18

☎ 070-6640-3927

Fax 046-801-2177

✉ info@kobayashinobuyuki.com ↑

Web http://kobayashinobuyuki.com

野比在住。1975年(昭和50年)9月3日生。妻と息子の3人家族。筑波大学卒。地域情報誌と環境コンサルティングに携わるが、地域の疲弊と日本の将来を憂い、政治を志す。政策秘書試験合格後、衆議院議員長島一由(前逗子市長)公設秘書として修行し、2011年より横須賀市議会議員。地域通貨イタッチ事務局長など市民活動にも関わる

第一特集 徹底追及！！

「ガйкаクダンタイ」への多額の出資金問題

第二特集

隠れた「随意契約」に斬りこめ!

徹底追及!!

第一特集

「ガйкаクダンタイ」への多額の出資金問題

「ガйкаクダンタイ」って何?

横須賀市の「外郭団体」をご存じでしょうか?

国では「独立行政法人」や「財団法人」等が「天下り」や多額の補助金などで問題になってきたことをご存知だと思います。

実はこうした外郭団体は横須賀市にもあります。それ自体は悪いことではありません。例えば、市が土地を買うにはどうしても時間がかかるので、土地開発公社を作って迅速に土地の先行取得をしてもらおう、というのは意味があります。

また、横須賀市では毎年「外郭団体白書」を作成し、外郭団体との関係性をガラス張りにしようとしています。それ自体はたいへん先進的だと言えます。

ただし私が見るところ問題がないわけではありません。横須賀市は↓表のとおり、これら外郭団体にお金を投資しています。この「出資額が多すぎるんじゃないか?」「外郭団体ばかり恵まれていて、民業圧迫になっているんじゃないか?」というのが私の疑問なんです。市役所の職員OBが常勤役員

団体名称	出資額 (億円)	出資割合 (%)	OB 役員	OB 職員
(財)横須賀芸術文化財団	11.0	100.0	1	1
(株)横須賀中央まちづくり	4.1	40.6	1	0
(財)横須賀市生涯学習財団	4.0	83.9	1	0
(財)横須賀市産業振興財団	4.0	73.0	0	0
(財)横須賀市健康福祉協会	2.0	98.9	1	2
(財)横須賀市都市施設公社	0.3	100.0	2	34
(株)横須賀新港埠頭	0.2	51.0	1	1
(福)横須賀市社会福祉事業団	0.1	100.0	1	2
横須賀市土地開発公社	0.1	100.0	0	0
(財)横須賀市学校給食会	0.0	0.0	1	0
(福)横須賀市社会福祉協議会	0.0	0.0	1	1
合計	25.8	(%)	10	41

「お手盛り」の「出来レース」?

たとえば、表の3番目に横須賀市生涯学習財団があります。ここは現在、「まなびかん」(生涯学習センター)の運営管理を平成22~25年度まで任されている指定管理者です。

ところで、この指定管理者の公募(業者選定)をかけたとき、いったいいくつの事業者が手を挙げたと思いますか? 実は、応募したのは横須賀市生涯学習財団、たった1者! それはそうですよね。横須賀市から4億円も出資してもらってる「お墨付き」外郭団体と張り合おうなどという民間団体はいないわけです。しかも、この出資金(貯金)を資産運用することで、この財団には黙っていても毎年600万円前後が入ってくるのです。つまり、この財団は圧倒的に有利な立場にある。それをわかっていながら公募をかけても、「お手盛り」の「出来レース」じゃないか?と言われてしまいますよね。

道路工事などの入札では、横須賀市は「談合」を許さない大変厳しい制度を導入し、全国から視察が来るほど。でも自分では「談合」のようなことをしているとすれば、どうでしょうか?

芸術劇場の次回業者選定。吉田市長の対応は?

昨年、4.2億円もの「赤字補填」をした芸術劇場。これまでは←表の横須賀芸術文化財団を指定管理者として1者指名してきましたが、吉田市長は「今回は公募で選ぶ。競争原理でコスト削減を図る」とのこと。それ自体はいい事ですが、さっきの例のように、市が11億円も出資して毎年1200万円の運用益がある外郭団体と競争しようなんていう民間団体は現れないと思うんです。そこで12月議会でも「また出来レースになっちゃうのでは?」と質問したら、吉田市長は「出資の有無で競争に不公平は生まれぬ」とのこと。みなさんどう思いますか?

「外郭団体」問題は、今後もまた違う切り口で取り上げます!





東京電力以外から電気が買える？

みなさんは、電気をどこから買っていますか？
「どこからって、東京電力からしか買えないでしょ！」
と言われそうですが、ご家庭の場合は確かにそう
です。ドイツなどでは「私は安い電気を買う」「俺は
高くても風力の会社」「アタシは太陽光」という具合に選べるそ
うですが、日本の家庭は地元電力会社からしか買えません。

しかし、実は電気を50kW以上使う場合は、どこから買って
もいいことをご存知でしたか？ 50kWといえば大きめのコン
ビニあたりから該当します。皇居、経済産業省、東京メトロ、神
奈川県庁、神奈川県警、横浜市、三浦市をはじめ、市内では
横須賀合同庁舎、横須賀海上保安本部などが安い電気を選
んで買っています。特に、東京都立川市の競輪場では6200
万円の電気代が、一般競争入札にかけたら4500万円まで下
がったそうです。実に27%のコスト削減です。

横須賀市の現状はどうか？

では、横須賀市ではどこから電気を買ってるのでしょうか？
横須賀市には電気を50kW以上使う施設が、下町浄水場を
筆頭に各小中学校など約130ありますが、なんと、全て東京
電力との随意契約で買っていました！ 市の担当者に聞くと、
どうやら横須賀市の施設が電力自由化の対象となっているこ
とを知らなかったらしいんですね。私は以前、環境コンサルテ
ィングの仕事をしていたこともあり、電力自由化の
流れは知っていました。なので、私が横須賀市議会で
初めてこの問題を取り上げることになりました。

議会で、吉田市長に提案！

この問題には山城保男議員も関心を持っており、協力して調
査を進め、9月議会では山城議員にまとめて質問頂きました。



小林伸行 議員(無党派)

山城議員「電力を入札により購入する考えはあるか？」

吉田市長「現状より経済的に電力を購入することができるよい
機会」「現在、メリットとデメリットを検証しているところであり、
その結果をもって導入を検討して参りたい」

と、吉田市長から大変前向きな答弁を引き出して頂きました。

また、私と山城議員で(株)エネットという電気会社を呼んで
話を聞いたところ、小中学校はすぐ値引きができるとのこと。
なぜなら、電力のピークは夏と冬ですが、学校はちょうどその
とき夏休み・冬休みなんですね。早速、見積をとったら「最低
でも5%割引」という提示。ただ、私も山城議員も教育福祉常
任委員会の委員ではないので、藤野英明議員に情報を提供
して、質問して頂きました。

藤野議員「これだけ削減できるんだから、
可能な限り早く一般競争入札してほしい」

学校管理課長「メリットがあればなるべく早めに取り入れたい」



藤野 英明 委員

12月議会では、私が質問に立ちました。小林「これまでの東
京電力1社との随意契約は良かったのか？悪かったのか？」
吉田市長「電力事業者が1社しかなかった時代からずっと契
約をしてきて更新のタイミングがなかったというのが随意契約
が続いてきた理由」「随意契約には具体的な理由が必要」「地
方自治法で定める原則はあくまで一般競争入札」 こうして
「一社との随意契約はマズイ」との言質をとることができました。

その後の横須賀市の動向

こうした提案を受けて、市長からの指示さえあれば一般競争
入札に切り替えられるよう市側も準備を整えているようです。
あとは、吉田市長がトップダウンでやる姿勢があるかどうか？

平成24年度分の電力調達はどうなるか、ご注目ください！
このテーマについては、一柳議員・藤野議員・山城議員が立ち上げた「脱原発議連」
の市民講座(12/12)にも招かれてご報告してきました。藤野議員の Ustream にて、
その模様をご覧ください。→ <http://www.ustream.tv/recorded/19100722>

編集後記

もうすぐ、激動の 2011 年が終わりますね。私にとって
今年、無我夢中で走りながら考える一年でした。

まず、前回のチラシ「中学校給食 Yes? No?」アンケート
のご報告と御礼です。おかげさまで約 800 名に回答頂き、
485 名分の署名を頂きました。ご協力頂いた方には簡単な
報告書を順次お届けしていますが、
私のブログでも公開しています。



あと、この『月刊小林のぶゆき』ですが、最近の発行ペ
ースが2ヶ月に1回となってきました。どうしても、つくるの
に1週間+配るのに3週間かかるので、毎月発行していると
私の場合、議会の仕事ができせん。なので、当面は隔月刊
でお届けします。毎月配るという約束ですが、確かに配って
いない月はなかったので毎月配ってはいます。でも毎月発行
は難しいので、訂正いたします。申し訳ありませんでした。

それでは、2012 年が「いいことがたくさんひろがる一年」
でありますように。みなさまの安全と健康を願っています。



応援してください！

- チラシのポスティング
- 駅でのチラシ手配り
- ご自宅への看板設置
- 学生インターン

常時、様々な手が必要です。
「応援してあげてもいいよ」
と思って下さった方は、お気
軽にご連絡下さい。

※政治献金・寄付は
頂いていません。

小林のぶゆきの基本政策

- 見える** 誰が何をどう決めてるのか
ぜんぜん見えぬ……。
市政をガラス張りにして「見える化」し、
意思決定の過程も含め情報公開を進めます。
- わかる** 難しい説明をされても
よくわからない……。
いま何が問題なのか。いま何が
必要なのか。チラシなどを通して
わかりやすくお伝えします。
- 変わる** これまで何も変わらなかった。
どうせ変わらない……。
現状が見え、問題がわかれば、
変えられます。私たちが払った税金が、
私たちに本当に必要なことに使
われるよう、変えていきます。

今こそ横須賀を 私たちのものに。

横須賀市政について、私の活動について、みなさまの
ご意見、ご提案、ご感想、疑問などお寄せください。
必ず私、小林伸行が自分で目を通します！

